

# エリアウェーブ

**峡東教育事務所**  
**地域教育支援スタッフ**  
**TEL 0553-20-2731**  
**FAX 0553-20-2733**

◎回覧・配付をお願いします。増し刷り配付はご自由どうぞ。山梨県庁のホームページでも掲載中です。

<http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kyoiku-hym/index.html>

◎ご意見・ご感想、情報提供はこちらまで。Email: [hirayama-atxj@pref.yamanashi.lg.jp](mailto:hirayama-atxj@pref.yamanashi.lg.jp)



## 「青いリンゴと大学の秋入学」

**峡東教育事務所 副所長 松野 勝則**

今から40～50年ほど前の話である。私の住んでいる富士見地区は、農家が多かった。

暑い夏が終わり、秋風が吹く頃になると、まだ青いリンゴを鉄網でできた大きなテーブル一杯に広げ、スプリンクラーで水をまく光景があちこちの農家の庭先で見られた。それが当たり前の光景であった。最初のうちは青いリンゴが、日が増すごとに赤く均一に色が付いていった。

品種は、今はほとんど見られなくなった紅玉(こうぎょく)か国光(こっこう)だったと思う。まだ青いうちに木からもぎ取り、水をかけながら天日で赤くするのだ。木で完熟させたものは、酸味もほどよく甘みも増して、とてもおいしかったという記憶があるが、庭にたくさん広げられたリンゴは、色はきれいに付き見た目にはおいしそうだが酸味が強く、好んで食べたりはしなかった。



なぜ青いうちに収穫し、天日で色づけをしたのだろうか。それは、長く木に実らせておくと、台風等で傷が付いたり葉っぱの陰で色づきが悪くなどして、出荷までのリスクが大きくなるからだ。そして何より、見た目が悪いと市場価格が下がることが一番の

要因だった。味よりも見た目で購入する消費者が多かったのだ。

今では果物や野菜は、見た目よりも中味(味や安全性)を重視して購入する消費者が多くなった。全く見た目を気にしない私は、市販のきれいな野菜より、家庭菜園で出来た多少虫が食っているキャベツや形の悪い人参を好んで食べる。

ところで、今、大手大学を中心に秋入学への移行を検討している。国際化や留学生の増加などグローバル化への対応や、大学入学を主な目標としてきた学生の質の低下への危機感からのようだ。

予定では、最も早く実施されたとしても、5年後の2017年ということで、今の中学校1年生が大学入試時期を迎える時に、秋入学になるかどうかということになるようだ。そうすれば、小中高の入学時期も、春から秋への移行の検討も必要になることだろう。

しかし、大学の入学時期を変えるだけでは、今の教育を取り巻く様々な課題は解決されない。大学も、リンゴと同じように、「見た目より中味」の検討が必要ではないだろうか。



## SSW(スクールソーシャルワーカー)の紹介



いじめ・不登校・暴力行使・児童虐待等の問題行動の早期発見・早期対応を図り、問題を抱える児童生徒の置かれた環境（家庭・友人関係・関係諸機関等）へ働きかけ、問題の解決にあたるために、問題を抱える児童生徒に支援を行う専門家のSSW（スクールソーシャルワーカー）2名を紹介します。

峡東地域の全小学校・中学校・適応指導教室へ定期的に学校訪問を行い、学校の要請による訪問指導を行い、これまで以上に、学校と地域の組織や関係機関との連携と、それをコーディネートする機関の整備・機能の強化を図っていきます。

### ◎ 甲斐 江美



- ・ 社会福祉士
- ・ 精神保健福祉士

学校の先生方と共に考え共に歩んでいきたいと思えます。よろしくお願いいたします。

### ◎ 長瀬 節子



- ・ 元県立学校教員

教員として児童・生徒と関わった経験を生かせるようにがんばりたいと思えます。よろしくお願いいたします。

## 花いっぱい 花さかじいさん



4月5日、石和ロータリークラブと笛吹市社会福祉協議会は「花さかじいさん」事業を行いました。子どもと地域の大人、高齢者が花を植える活動と一緒にすることによる世代間交流と花を植えたり花を育てたりする活動を通して環境美化の心の育成を図ることを目的に、昨年からスタートした事業です。

今年は、わかば保育園の園児31名と名前が書かれたプランターにマリーゴールド150株を植えました。参加した園児らは「一緒に植えるのが楽しかった」と話していました。花を植えた後には、園児から歌のプレゼントがありました。

最後に、園児の名前や絵、メッセージなどが書かれた風船を大空におかっちはなちました。空にはカラフルな風船が舞いあがり、2回目の「花さかじいさん」は大きな歓声と共に終了しました。

\* 植えた花は、石和温泉足湯ひろばなどに飾られ、地域だけでなく観光客の目をなごませました。



〈 一緒に植えようね 〉



〈 一斉にとばすよ！1・2のハイ！ 〉



## 児童センターまつり

5月26日、山梨市の加納岩児童センターと日下部児童センターにおいて、児童センターまつりが行われました。

このまつりは、地域の方々や子どもがいる家庭に児童センターを知ってもらおうと、センター職員・母親クラブの会員さん方が中心となり開催しています。

加納岩児童センターでは、帝京学園短期大学の学生さんによるエプロンシアターやビンゴゲーム、工作、おやつタイム、くじ引きなどたくさんのプログラムが用意されていました。

年に1度のイベントですが、日頃児童センターを利用している子どもたちや加納岩小学校の児童など多数の参加があり、会場はとても盛り上がりました。



〈パネルシアター〉



〈プラ板でキーホルダー作り〉



## ことぶき勸学院開講

(東八学園・東山学園・峡東教室)

山梨ことぶき勸学院の東八学園・東山学園の2年生、峡東教室の1年生は、4月24日・25日・27日、それぞれの会場において開講式を行いました。今年度から東八・東山学園が一緒になり、峡東教室がスタートし、学習場所は、東八学園が八代総合会館、東山学園が山梨市民会館、峡東教室が東山梨合同庁舎となります。

東八学園は29名、東山学園は23名、峡東教室は35名で学習をしています。



峡東教室 1年生のみなさん

## 塩山カトリック幼稚園～ふれあい交流会～

5月8日、甲州市塩山カトリック幼稚園において、「ふれあい交流会」が行われました。

昔遊びの講師として甘草屋敷絵本くらぶの方々が、けん玉、こま回し、あやとり、ぶんぶんごまなど教えてくれ、大きな円を作り「なべなべそこぬけ」などをして交流しました。

いろいろな昔の遊びで楽しんだ後には、園児たちが作ったカップケーキをみんなでおいしくいただきました。

さくら組(年長)さんは、「教えてもらった遊びを幼稚園でも、たのしく遊んでいきたい」とお礼を述べ、園庭の藤の花の下で、地域のお年寄りや園児のおじいちゃんおばあちゃん、保護者との楽しい一時をすごしました。



〈こまをまわすよ！みんな注目！〉

今回、講師として昔遊びを教えて下さった方々は、生涯学習ボランティアに登録をしている指導者とそのグループで活動をしている方々です。

峡東教育事務所では、生涯学習ボランティアバンク〈峡東地区2012年度版〉を作成し、様々なジャンルで指導をしてくださる方を一覧にまとめ、管内教育機関、公民館等に配布しました。

水泳の指導者や公民館の催しの講師などをお探しの場合は、ぜひご活用下さい。

問い合わせ 峡東教育事務所 TEL 0553-20-2731 小佐野まで



〈なべなべ そーこぬけー〉

## 子どもとの絆づくり ～親子関係のあり方～

講師：川邊 修作 氏  
(認定カウンセラー・ガイダンスカウンセラー)  
期日：平成24年6月28日(木)  
時間：午後2時30分～午後4時20分  
会場：山梨市民会館 3F 大集会室(千鳥の間)  
主催：峡東地域教育推進連絡協議会  
山梨市教育委員会 峡東教育事務所



人間の人格形成の上で大切なのは、乳幼児期の親子のふれあいです。  
よりよい人間関係を築くための第1歩は親子関係から……。

子どもや保護者と多く関わられてきた川邊先生の話から、親子関係をもう一度見つめ直してみませんか？

問い合わせ 参加希望の方は、  
TEL 0553-20-2731  
FAX 0553-20-2733  
峡東教育事務所まで連絡ください。



### 朝ごはんって、なぜ大切なの？

朝ごはんの主な役割は、

- ① **エネルギー源となる。**(エネルギーは、車にとってのガソリンと同じ。夜寝ている間にも体はエネルギーを使っています。朝目覚めたときには「ガス欠」状態のことも。体が動かない、イライラする、注意力散漫なんてことはありませんか?)
- ② **体温を上げる。**
- ③ **胃や腸を刺激して、便秘を予防する。**
- ④ **生活リズムを整える。があげられます。**



朝目覚めた直後では食欲はわからないものです。起きてから少し時間がたつと、胃腸が動きだして空腹感を感じるので、早起きをすると朝ごはんをおいしく食べることができます。家族一緒に朝ご飯を食べることにより子ども心身の小さな変化も察してあげることができるでしょう。

明治31年、埼玉県幡羅高等小学校で、保護者に配布した「家庭心得」を紹介します。

そこには、「諺にも、

『教育の道は、  
家庭の教で芽を出し、  
学校の教で花が咲き、  
世間の教で実がなる。』

と言う。学校と家庭は、常に相一致し、同じ方向に進み……。と書かれています。学校・家庭・地域の連携、三者の教育力の発揮などと言われている今、こうした考え方、家庭の心構えをもち、子どもたちに接していきたいと思いました。